



発行 真言宗豊山派 靈松山歓喜院
金剛寺

〒371-0241 前橋市苗ヶ島町1147
TEL 027(283)6918 FAX 027(283)6815
<http://www.rajin.com/kongouji/>



笑顔の教え

真言宗豊山派

泉性院 住職 佐藤 智香

智香



るべになっています。

私が住職をつとめる寺は、福島

県の北部、太平洋からは約五十キロ離れた福島市にあります。東日本大震災では地震の被害はもちろ

んですが、その後の原発事故による影響は大きく、今なお子どもを連れて避難を続いている檀家さん

もいます。

あの日、激しい揺れに襲われた時は、一ヵ月後に控えた長谷寺参拝説明会の時でした。全員の無事

を確認し、恐怖におののく方々に「気持ちをしっかりと持つて過ごしていきましょう」と声をかけながら

帰宅を見送りました。日が沈み、停電の暗闇の中で、まずすべきことは何かを考えたとき、さきほど

の言葉にこめた思いを表そうと考

えついたのです。懐中電灯を頼りに作ったのは、「和顔施（笑顔をたらわざに）」と書いた手書きのポスターでした。『雑宝藏經』の中に示

されている教えで、金品を使わずともできる「無財の七施」という布施行のひとつです。大変な時こそ笑顔で乗り越えて参りましょう。自ら実践し示すことを誓う教えでもありました。

「いただいたご恩はその方に直接返すことはできず、まわり回って誰かに返すことが恩返し」と読んだことがあります。笑顔からいただいたご恩は、笑顔で誰かにお返したい。毎日を行うこと、一日に何度もを行うこと、ずっと続けてゆくこと。時を経てさらに大切に思う、笑顔のおしえです。

志田ご住職は、いつも笑顔で接してくれています。伝法大会の時も、高まる緊張から険しい面持ちになっていた私に「大丈夫だよ」と笑顔で声をかけてくださいました。その時に、どれほど力を授けていたかことでしょう。お示しくださった姿が今、日々の道し

ます。

志田ご住職は、いつも笑顔で接

してくれています。伝法大会の時

も、高まる緊張から険しい面持ち

になっていた私に「大丈夫だよ」と笑顔で声をかけてくださいました。その時に、どれほど力を授け

ていただいたことでしょう。お示

しくださった姿が今、日々の道し

ます。

志田ご住職は、いつも笑顔で接

てくれています。伝法大会の時

も、高まる緊張から険しい面持ち

になっていた私に「大丈夫だよ」と笑顔で声をかけてくださいました。その時に、どれほど力を授け

ていただいたことでしょう。お示

しくださった姿

『真言宗豊山派として』



岸 孝洋

かと想像しながら。お恥ずかしい話ですが、若輩者ゆえ座禅を組むのは初体验で、絶対に我慢してやるとその時は息巻いていました。

私が金剛寺の住職、志田 洋遠様と出会ったのは今から十年前になります。

きっかけは住職の従兄弟にあたる方でした。その方と私、私の父親と食事をしている時に「おじさんがお寺で住職をしているから、今度座禅をしにいこう。」そのお誘いが私と

志田 洋遠住職との出会いの発端でした。父親も「うちも真言宗豊山派だから是非行きたい」と話が一致。数ヶ月後、金剛寺に父親と住職の従兄弟、知人と四人でお邪魔しました。金剛寺に初めて足を踏み入れて最初に思ったことが、なんて自然が豊富な場所にお寺があるのだと感動しました。ここで座禅をするの

耳に澄ませられるという現象が起きました。この体验を活かして大学の卒業論文のテーマをお寺にさせて頂きました。お寺が経済に与える影響についてをテーマにしたもので我ながら良いモノに仕上げたと思います。余談が過ぎましたがこの金剛寺

こり驚きと共にいつまでもこうしていきたいとさえ感じ取れました。ころは私の中では非日常なことあります。発見もありました。余談ですがこの体验を活かして大学の卒業論文のテーマをお寺にさせて頂きました。お寺が経済に与える影響についてをテーマにしたもので我ながら良いモノに仕上げたと思います。余談が過ぎましたがこの金剛寺



金剛力士像

今でも住職との交流は続いている、お食事をご一緒させて頂いた時にこの文を執筆する経緯になります。
人の出会いとは大切なものだと、志田住職に教えて頂けたと今でも思えます。
ありがとうございました。

での体验は思いが深く、十年後の今でも貴重な体验として活用しています。

支え合う大切さ

前橋市立宮城中学校

松村
夏也



「なんで私だけ」

た。母の手伝いも私だけ、妹や弟が楽しそうに遊んでいる時も、母にたのまれた、洗濯や片付けをしなければならない・・・・。『長女に生まれて来なければ、なぜ私が長女なのだろう』と思つた事もありました。

妹は、小学五年生ですが、いつも遊んでばかりでゴロゴロしていて、全く手伝いをしません、弟ともケンカをしては泣かせてばかり。それに私は今まで命令口調で色々と用事をしたのできます。『なんで、こんな妹の言うことを・・・』と嫌に思う事も度々あります。

「人形が怖い。」
と、涙を流します。そんな時は、私の所に走ってきて、しがみついてきます。そんな弟は、とつてもとつても可愛いです。

こんな一見、普通そうに見える兄弟ですが、少し他の子達とは違い、

発達障害という障害をかかえています。この発達障害のために、妹達は簡単なひらがながなかなか覚えられなかつたり、人の顔と名前を覚えられなかつたりなどすごく苦手な事もありしば、興味がある事、子

な事もあれば、興味がある事、好きな事など、いろいろな事に關しては、まるで専門家のような意見や行動をとります。私は、うらやましく思う事もあります。産まれてからずっと一緒に過ごしてるので、妹達の大変さは見てているだけで感じました。

うらやましく思う事もあります。産まれてからずっと一緒に過ごしているので、妹達の大変さは見ていました。

難しかつたり、気温の変化などの環境の変化にも敏感で体調をくずしたりしてしまいました。その事を少しでも和らげるため、一つ一つ細かく説明して、言葉に気をつけなくてはいけない事がわかりました。

らい事もあると、教えてもらつています。
私に出来る事、それは、支援方法を学び誰よりも兄弟を理解し、広い心で見守り続けてあげる事ではないかと、この作文を書く事により改めて思いました。

支え続けていけるよう、私もがんばりたいとおもいます。

弟のためにはナビゲーターとしての役割をしてあげようと、自然と思うようになりました。

決して、私がしてあげているだけではなく、妹からは、細かな知識や、小さな子供達への接し方を学び、弟からは、優しさとまじめさを学び、なにより、自然に支援する方法を学んでいます。支えているだけではなく、それ以上に支えられている私は、姉として幸せなんだなど感じられます。

今は、普通に笑って過ごしている
私達兄弟。少し大変だけど、私に
とって、こんな兄弟は大切な大切な
妹と弟なんだと思ひます。



小さい子たちがくれるもの

高崎市佐野中学校 林 紗那

私は四歳と十カ月のいとこがいます。四歳の子は産まれた時に、心臓に穴があいていました。その子のお母さんはずっと泣いていました。けれど手術をして今は元気に暮らしています。



いとこでなかつたら、多分私はもつと命の大切さをわかつていなかつたのではないかと思っています。だから小さい時からかつた分いとこには思いつきり遊んでほしいので、いとこの家に遊びに行っています。十ヶ月の子も一緒に遊ぶのがとても楽しいです。

ひとつ、思いました。小さい子どもは、無邪気に遊び無邪気に笑うことが一番似合うのではないかと...普通に遊んだりして過ごす小さい子達をみてると和んだり笑顔になつたりします。ちいさい子達が持っているパワーははかりしれないんだと思いました。小さい子が笑つたら、他の人も笑う。すばらしいリレーがつながっている

らしています。いとこでなかつたら、多分私はもつと命の大切さをわかつていなかつたのではないかと思っています。だから小さい時からかつた分いとこには思いつきり遊んでほしいので、いとこの家に遊びに行っています。十ヶ月の子も一緒に遊ぶのがとても楽しいです。ひとつ、思いました。小さい子どもは、無邪気に遊び無邪気に笑うことが一番似合うのではないかと...普通に遊んだりして過ごす小さい子達をみてると和んだり笑顔になつたりします。ちいさい子達が持っているパワーははかりしれないんだと思いました。小さい子が笑つたら、他の人も笑う。すばらしいリレーがつながっている

の顔を覚えたみたいで遊びに行くと、にこにこ笑ってくれます。まだしゃべれない代わりに、表情で思いを伝えてくれているんだなと思いました。手を出したときには指をにぎつてくれるし、おもしろい時には笑ってくれます。小さい子でもちゃんとわかるつてくれていると思います。悲しいことに日本は少子化が進んでいます。どの時代にも笑顔をくれていた小さい子達が減りつづけているということです。それは自然と笑顔が減つてきているということになります。とても悲しくなります。無邪気でみんなに笑顔をくれていた存在が減つているというのは本当に悲しくて、日本が元気でなくなつてしまふのではないかというぐらいに、小さい子どもの中は大げさに悲しくて、日本が元気でなくなつてしまふのではないかといふ

正確にしていき今五年生ですが年長よりもつとがんばり六年生のときすごくがんばり、おじいちゃん、おばあちゃん、お母さん、お父さんたちにかわったねと言われたらいいです。また中一中二などです。また中一中二などずつとがんばります。またやくにたちたいです。



トに感情を伝えられなくなつていいと思うので、私は感情をストレートに出す、小さい子が大好きです。伝えづらい事は難しく伝える大人よりも、何が何だかわからないけど泣く、そんな小さい子が大好きです。どの時代でも小さい子は愛されて、笑顔してくれたのではないかと考えました。小さい子は幸せにしてくれます。私も小さい時、笑顔を作っていたのかと思うととても嬉しくなりました。

悲しいことに日本は少子化が進んでいます。どの時代にも笑顔をくれていた小さい子達が減りつづけているということです。それは自然と笑顔が減つてきているということになります。とても悲しくなります。無邪気でみんなに笑顔をくれていた存在が減つているというの

は、年長さんから6年間ずっとしてきました。
年長さんのとき、やくに立つていたのか分かりません。でもどんどん少しづつやくにたつていきたいであります。そのためには、すばやく、きれいに正確にしていき今五年生ですが年長よりもつとがんばり六年生のときすごくがんばり、おじいちゃん、おばあちゃん、お母さん、お父さんたちにかわったねと言われたらいいです。また中一中二などです。また中一中二などずつとがんばります。またやくにたちたいです。

大そうじ

前橋市立城南小学校 塚越 昌大



ぼくがお寺のそうじを始めたのは、年長さんから6年間ずっとしてきました。
年長さんのとき、やくに立つていたのか分かりません。でもどんどん少しづつやくにたつていきたいであります。そのためには、すばやく、きれいに正確にしていき今五年生ですが年長よりもつとがんばり六年生のときすごくがんばり、おじいちゃん、おばあちゃん、お母さん、お父さんたちにかわったねと言われたらいいです。また中一中二などです。また中一中二などずつとがんばります。またやくにたちたいです。



おびんずる様を再建して早や二年が経ちました。今般、発起人有志で集い住職に先導して頂き、法要を営む事が出来ました。

東日本大震災の惨禍に見舞われた多くの犠牲者の皆様の鎮魂と残された方々の安寧を願うと共に、忘れ去られ様としていた「おびんずる様」を再建しようと、地元の有志が奔走し、多くの方々から淨財を喜捨して戴き、震災から一周年目に開眼法養を催す事が叶いました。

平成二十三年三月十一日の震災の百五年前、明治二十九年六月十五日（一八九六年）午後七時三十分にも「明治三陸地震」と呼ばれる巨大地震が三陸沖で発生。大津波が襲い岩手県綾里湾では三八、二mの津波を観測。

被災者は死者二万九千五百人、行方不明四十四人、負傷者四千三百九十八人と記録しております。（修

宗派転末記録

金剛寺 責任役員 東宮 悅允



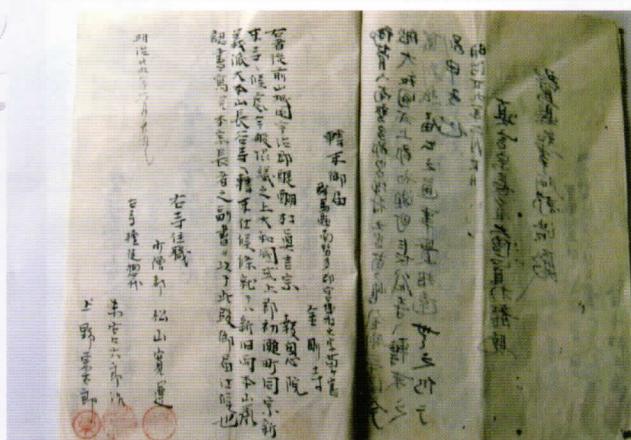
す。

実はこの年、明治二十九年六月、山城国宇治郡醍醐村（現・京都市伏見区）報恩院末から大和國式上郡初瀬町（現・奈良県桜井市初瀬）真言宗新義派大本山長谷寺へ転末しております。

醍醐派は真言系仏教宗派で、古義真言宗に属す修驗道の一派で、当山派の總本山であり、修驗道を支配する寺院であります。

明治維新の神仏分離、修驗道禁止令に伴い醍醐派は衰微、その流れの中で金剛寺は醍醐派から豊山派へ変わっていましたと思われます。（修驗

明治二十九年六月
金剛寺轉末書類



道とは日本古来の山岳信仰に、神道や外来思想の仏教・道教が混合して成立しました。赤城山は元々山岳信仰の靈山であり、宗派の別なく多くの修驗者や僧が修行に励んでいた山でした。

赤城神社社家に伝わる「奈良原

年代記」に寛文元年四月二十五日（一千六百六十一年）の条に「…

京都智積院僧正丁房祐亭家繁叔父坊なり此由を苗ヶ島金剛寺も法流寺なりしなり」と記載されています。

と言う事は寛文元年頃は智山派總本山の智積院に属していたのでしようか。

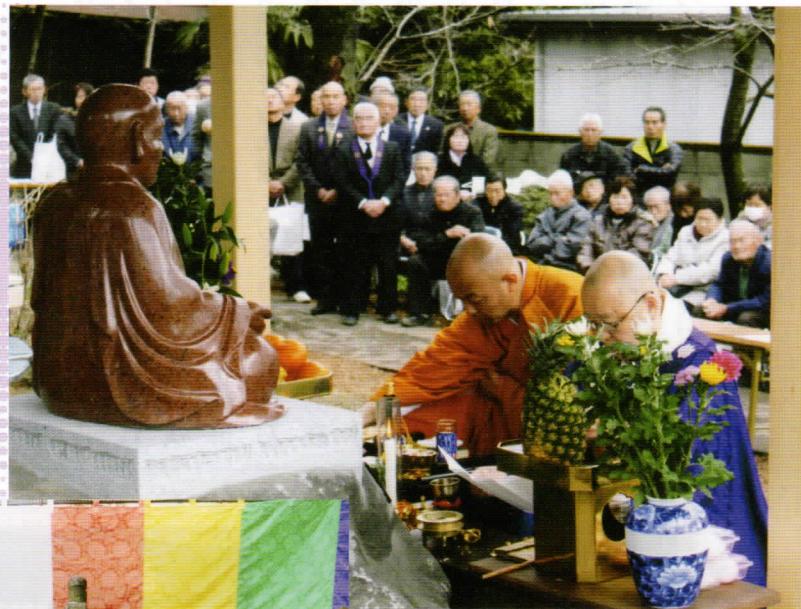
時代と共に智山派から醍醐派をして豊山派へと変遷を繰り返していく足跡がうかがえます。次号へつづく・・・。



おびんづる様開眼（なで仏）

再建の会建立

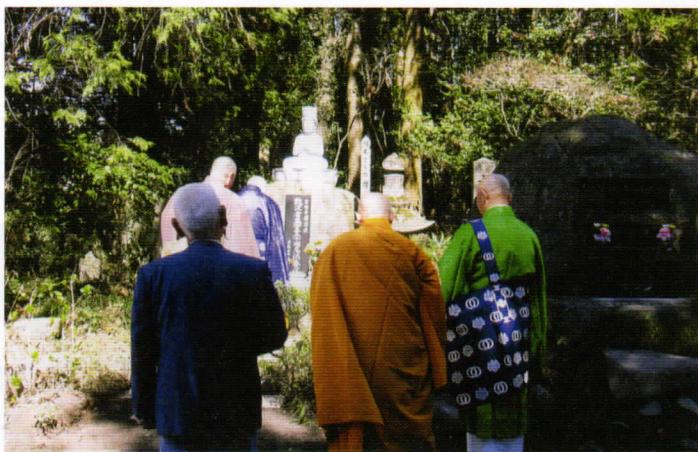
おびんづる様



金剛寺戦没者英靈七十廻忌追善法要厳修 平成二十六年四月五日

桜がほころび始めた四月五日
金剛寺本堂に於て、檀信徒総代
(岩崎 和衛)・役員及び住職(助
法三人)により、当山戦没者英靈
六十六柱の七十廻忌追善法要が
厳修されました。

国の為に極寒のなかで、酷暑
のなかで又、ジャングルのなか
で泥水を飲み飢えに耐えながら、
祖国そして、父母兄弟を思い
必死に戦つて戦場に散つた英靈
にせめて金剛寺の桜花の一輪で
も見ていただければと……。
「今日の平和の礎で有る事を決
して忘れてはならない」



住職法話集

(第二十八話) 六道・四生みなこれ父母

宇宙の生きとし生けるものは、すべてみなこれ父であり母である。

空海（弘法大師）は、生きとし生けるものはみな父であり母であるとの考へを示されておられます。

なんと広大な心、大きな考へではありますか。

私達もよく考へれば、親のいない人はいなはずです。父母が居れば、今生かされているのです。しかし現代の世相を直視するとき、「この大師のお考へは非常に難しい生き方であると思われます。

「親が子を殺し子が親を殺める」自分
の親を親とも考へない、子を子とも考
えない世相に弘法大師の優しいお心を
理解する事は至難のわざかもしませ
ん。しかし、これで良いわけはありません。
せん。

何故このような世相になったのか、
その原因・理由を私達（大人）が考
えてみる事こそ、今求められるのではな
いでしょうか。



カワハタマサコ画
川畑 應子画

第6回 団参募集

真言宗総本山高野山・豊山派総本山長谷寺への
参拝を募集しております。

1. 期日 平成26年11月3日・4日・5日（2泊3日）
2. 場所 高野山（和歌山県）・長谷寺（奈良県）
3. 参加費 5万円
4. 募集人数 35人

詳細については役員・金剛寺にお問い合わせ下さい。
希望者にはFAXにても要項を送付致します。



金剛寺 TEL.027(283)6918 FAX.027(283)6815

住職紹介



氏名 志田 洋遠
(しだ ようえん)

生年月日
昭和17年11月28日

住所 〒371-0241
群馬県前橋市苗ヶ島町1147
TEL.027-283-6918
FAX.027-283-6815

職業 金剛寺住職（真言宗豊山派）

役職 前橋市行政相談委員
前橋市保護司
本山特派布教師
青少年心の相談室
全国青少年教化協議会相談役
教誨師

専門分野主なもの
青少年関係（非行問題・青少年相談）
福祉（ボランティア）・環境問題・宗教

これまでに行った演題の主なもの

『大人の声・子供の声』・『非行問題と家庭』・
『非行の現状』・『ボケたら勝ち』・『今なぜ生涯
学習か』・『生きるとは』・『地球は泣いている』・
『21世紀をいかに生きるか』・『新世代に
望むこと』・『子供からのSOS』・『なぜキレル
のか』・『大人の責任と反省』・『青少年相談から
みた家庭』・『生老病死』・『大人の役割と子供の
呼び』・『今、子ども達は』・『心の相談室から』

賞罰

昭和62年	群馬県郷土づくり功労賞
昭和63年	群馬県青少年育成功労賞
昭和63年	勢多郡社会教育振興賞
昭和63年	全国仏教伝道協会奨励賞
平成3年	第15回『正力松太郎奨励賞』
平成3年	第42回成人善行賞
平成5年	群馬県防犯功労賞
平成9年	群馬県保護司会長連盟賞
平成9年	ロータリーボランティア賞
平成9年	勢多郡生涯学習功労賞
平成10年	関東ブロック防犯功労賞
平成10年	第22回『正力松太郎奨励賞』
平成20年	総務大臣賞（行政相談委員）
平成20年	社会功労賞（真言宗豊山派）
平成25年	法務大臣賞（保護司）

主な講演会（法話）

定価	著者	題名	定価	著者	題名	定価	著者	題名	定価	著者	題名
七千七百円	成瀬 良徳	「(四) 仏教と道徳」 仏教教育撰集 全六巻	八百四十円	中野 孝次 (株) 草思社	「良寛 心の歌」 稲垣栄洋・三上修 (絵)	千七百円	〔株〕講談社	「身边な雑草のゆかいな生き方」 稲垣栄洋・三上修 (絵)	稻垣栄洋・三上修 (絵)	〔株〕講談社	「齊藤茂吉」・「震災に生きる」・「人生とは」

住職からのおすすめ本

月日	月日	月日	月日
平成二十五年十月十五日 群馬市民大学講座	平成二十五年十一月二十七日 倫理法人会	平成二十四年十二月二十四日 東京都豊島区巣鴨『真性院』	平成十三年七月二十六日(火) 宮城総合体育館

諸般の事情により大変遅れましたが、ここに
第九号を発刊させていただきます。本年三月
おかげさまで、群馬県中部宗務支所長を退
任出来ました。四年間の任期中は、檀信徒の
皆様には迷惑をおかけ致し心よりお詫び申
し上げるとともに、ご理解と協力をいただき
感謝申し上げます。さて、この度発刊に対し、
特別寄稿に「佐藤智香師（福島県泉性院住
職）」をお願い致しました。（多忙の中にも閑
わらば「笑顔の教え」と題して御執筆いただき
『縁』の有りがたさを痛感致しました。又、十
年程前に来寺された出会いが縁で「岸 孝洋
様」、当山責任役員「東宮 憲允氏」より「宗
派転末記録」を連載で御執筆いただく事にな
りましたのでご期待下さい。若き世代から、
「塙越 昌大君」・「松村 夏也様」・「林 沙
那様」三名より投稿頂きました。「金剛寺ホ
ームページ」も、六月で四四、四三〇人以上のアク
セスがあり、多くの方々に御覧いただけており
ます。唯々感謝。ホームページ内の「メール相談
室」も、多くの人達に活用され、全国的な展開
になりつつあり、その内容は様々で、「生きる」こ
との厳しさが幾重にも重なり、その相談内容
が如実に現れています。（信じられない）（死に
たい）（生きる意味がわからない）・友達が出
来ない）（いじめ・不登校問題）・（遺産相続）
（就職問題）・（離婚問題）・（宗教問題）等々でし
た。今後とも皆様のご理解とご協力を得なが
ら、宗教家としてこれらの諸問題に真摯に向
き合いたいと考えております。
未筆になりますが、原稿をお寄せ頂きまし
た皆様に心から感謝を申し上げます。